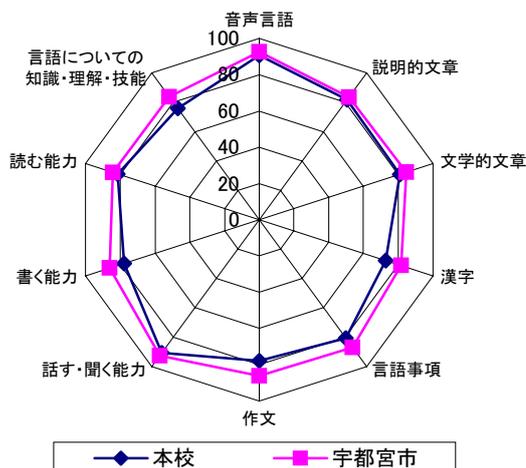


宇都宮市立宝木小学校第4学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	90.7	92.6
	説明的文章	81.9	83.7
	文学的文章	81.0	84.7
	漢字	72.7	81.6
	言語事項	80.7	87.0
	作文	77.9	86.1
観点別	話す・聞く能力	90.7	92.6
	書く能力	77.9	86.1
	読む能力	81.4	84.2
	言語についての知識・理解・技能	75.9	83.8



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (90.7%)	・平均正答率は市平均をやや下回っている。話の内容を正しく聞き取れることは概ねできており、その正答率は市平均とほぼ同等である。しかし、話題に沿った質問をする問題については、市平均を大きく下回っている。	・各教科の授業や日常生活において、先生や友達の話をよく聞くことを重点に指導してきた。今後は、さらに聞き取った内容から自分の考えと比べたり、質問したりできるように支援していく。また、話し方にも着目させ、どのように話すか聞き手に分かりやすいかを考えさせたり、話す時に単語ではなく文章できちんと伝えるよう助言したりして、コミュニケーション能力を高めていきたい。
説明的文章 (81.9%)	・平均正答率は市平均をやや下回っている。文脈に即した内容の理解、文章全体の内容の理解、段落の役割の理解のいずれも正答率は、市平均をやや下回っている。特に、段落の役割の理解については、正答率が低く、約5割程度である。	・説明文の形式について理解させるとともに、筆者の意図をきちんと読み取らせるようにする。また、接続語や指示語に着目させて、文章のどの部分を指しているのかなど、文脈にあった内容を考えさせるようにしていく。
文学的文章 (81.0%)	・平均正答率は市平均を下回っている。文脈に沿った語句を補充する問題の正答率は市平均をやや下回っている。場面の様子や登場人物の様子を読み取る問題については、市平均を下回っている。場面の移り変わりについての問題は正答率が低く、約6割程度である。	・物語文では、話の筋がつかめるように、音読を繰り返すように行うようにする。また、登場人物の様子や心情、場面の様子が正しく捉えられるように、文章を読みながら、それらが書かれている個所にアンダーラインを引いていくようにする。読書活動を多く取り入れたり、読書会の時間を設けたりするなど、本と親しむ機会を増やしていきたい。
漢字 (72.7%)	・平均正答率は市の平均を大きく下回っている。4年生で習った漢字を読む設問では、正答率が市平均とほぼ同等である問題もあるが、市平均よりも大きく下回っている問題も見られる。3年生で習った漢字を書く設問では、漢字を正しく書けない児童が多く見られ、市平均を大きく下回っている。	・漢字の学習では、書き順や字形を指導したり誤りやすい事例を挙げたりして、漢字の読み書きが正しくできるようしていく。当該学年はもちろん、前学年までに習った漢字についても繰り返し練習させるとともに、小テストを実施して定着の度合を確認していく。また、辞書を活用して熟語や意味を調べさせ、漢字を使う力を付けさせたい。これらを継続的に行い、技能の定着を図っていくようにする。
言語事項 (80.7%)	・平均正答率は市の平均を下回っている。ことわざの問題の正答率は市平均とほぼ同等である。漢字の画数を答える問題は市平均をやや下回っている。しかし、主語・述語や修飾語の問題は誤答が多く、正答率は市平均を大きく下回っている。	・文章を音読するとき句読点を意識させたり、句読点の位置によって意味が異なる事例を示したりする。また、文章を書くときに、主語・述語、修飾語を意識させるようにしたり、文法の練習問題を行ったりして、言語事項の定着を図る。
作文 (77.9%)	・平均正答率は市の平均を大きく下回っている。手紙文の書き方について、「書き出しの言葉」や「お礼の言葉」、「結びのあいさつ」を入れて書けない児童が見られ、それぞれの正答率は市平均を下回っている。特に、「結びのあいさつ」を入れて書くことについては、市平均を大きく下回っている。	・お世話になった人への手紙を書く機会を設け、形式を理解させながら実際に書かせるようにすることで、適切な内容の手紙が正しく書けるようにしていく。